

令和7年度シラバス

作業療法士科

神戸総合医療専門学校

科目名	授業形態	担当教員名	
基礎作業学	講義・演習	岡田 誠暁	
時間数（単位数）	授業回数	年次	開講時期
30 時間 (1 単位)	15 回	1 年次	後期

授業の目的・概要

私たちの生活はすべて作業から成り立っている。この講義では、作業が人の健康にどのように影響を及ぼしているのかを理解し、作業を治療に用いることができるようになることを目指す。
具体的には作業が持つ意味や特性を学び、作業分析と活動分析を行う。

授業の到達目標

- | | |
|---------------------------------|-----------------------|
| 1. 作業療法における作業とは何かを考えられる。 | 5. 作業分析ができる。 |
| 2. 人にとっての作業の意味を考えられる。 | 6. 作業の治療的応用について考えられる。 |
| 3. 作業の形態について説明できる。 | |
| 4. 作業は人の生活の中で何の役に立っているのかを説明できる。 | |

授業計画

回	内容
1	作業と作業療法について
2	作業活動について
3	人と作業
4	作業と生活機能
5	道具・材料・環境
6	作業分析の目的
7	作業分析①演習
8	作業分析②演習
9	作業分析③演習
10	作業分析まとめ
11	レクリエーション演習分析①
12	レクリエーション演習分析②
13	レクリエーション演習分析③
14	レクリエーション演習分析まとめ
15	基礎作業学 まとめ

成績の評価方法と基準

種別	割合	評価基準・その他備考
筆記試験		
レポート・課題	30%	作業分析・レクリエーション演習分析 課題
小テスト		
平常点		
その他	70%	プレゼンテーションの出来栄え 授業への参加態度
自由記載	グループワークのプレゼンテーションやレポートなどで評価するため、再試験は実施しない。	

教科書

書名	著者・編集者名	出版社名
特に指定しない		
自由記載		

参考文献

書名	著者・編集者名	出版社名
作業、その治療的応用	日本作業療法士協会	協同医書
ひとと作業・作業活動	山根寛	三輪書店
自由記載		

備考